

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		2のあひる				公表日	2025年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		ご利用児様の成長もあり、すこし手狭になってきている所もありますが個別に散歩などを行い、密にならないようにもしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		ご利用児様の全体の人数に対して半数以上の職員を配置できるようにしています。(例: 10人の場合は、職員5名)		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			現在、2のあひる内にバリアフリー化が必要な箇所は無いと認識しております。今後必要な箇所がある場合は、その都度配慮したいと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		集団で過ごす部屋と個別や少人数で過ごす部屋を分けています。製作など作業は基本的に小さな部屋で個別にしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		プログラム以外でもPDCAサイクル意識して取り組んでいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートの結果を保護者会時にお伝えしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援前の朝礼時に、意見交換を行い支援に繋がっています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在2のあひるでは行っていません。法人内で協議の上進めていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内外での研修に参加し、資格の取得を目的にするのではなく、職員のスキル向上にも研修に参加しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		運動、製作などの中に5領域を含めプログラムを作成しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○	1		親御さんの意見を中心に行っているためご利用児様の意見も反映出来るよう努めていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に作成していますが、関わる職員すべてに聞き取りを行い反映しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		朝礼時等に確認しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		朝礼時や終了時に確認をしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			具体的な内容まで踏み込めていない部分も多いので、2のあひる内で協議できるよう進めていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		各パートごとの役割はありますが、最終案を出すまでに話し合いを職員同士で行っていません。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		似ている内容も行いますが、前回より工程を増やしたりすることで固定化しないよう努めています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		課題等を職員同士で話し共通認識を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時にプログラムの確認を行い、支援の方向性を考えています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終了後当日できないことが多いので、翌日の朝礼時に行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ご利用児童1人1人の記録ファイルを作成しており、記録を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回以上行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		自然体験など地域の方に協力していただいで進めています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		毎回1つの課題に取り組んでもらっています。しかし、ご利用児童だけでは進まない場合もありますが職員が作る場所を見てもらったりすることで課題に参加してもらっています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参加する前に職員より、聞き取りも行い参加させていただいています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		法人内も活用し体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		問題が発生した場合は、関係者会議や電話での対応を実施しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		適時させていただいています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		適時相談支援員さんとの連携を実施しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今後検討していきたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			ご家族の方からもご要望がないので、率先して行いません。地域交流として2のおひるの作品と地域のこども園さんと協力して展示を行ってきたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		奈良市障がい児支援連絡協議会に定期的に参加させていただき、意見交換を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時にお伝えさせていただいています。また、面談や電話で対応させていただいています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ご希望があれば検討させていただきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明させていただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		相談支援員さんとの連携を実施しており、個別支計画書の内容に反映し説明させていただいています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		内容をご説明させていただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご相談いただいた場合、面談や電話での対応をさせていただきます。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会と法人内施設の見学も合わせて行っています。	ごきょうだい向けのものを行ったことがありません。ご希望があれば検討させていただきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情相談窓口を設置しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			法人内の広報誌などがありますが、2のあひる単体のものは現在作成しておりません。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については、十分配慮している。法人内の広報誌に載る際も承諾を得たうえで掲載を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご利用児様特性により、絵カードや指差し等で意思疎通を図っている、保護者様に対しては、送迎時などお伝えしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		自然体験プログラムを行う際に地元の方に協力していただき、流しそうめんやお餅つきなどのプログラムを行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			適時発信ができていないので、お手紙等で発信を行っていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に2回利用児さんにも参加していただき訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		てんかんの症状については、契約時に確認をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の診断書の写しを頂き、対応させていただいています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		職員研修を行いつつ、また近隣の公園など危険な箇所の確認を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			安全計画を策定しているが、全ご家族様には周知できていないので、周知を行っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内で共有し、法人内でも検討することもあります。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内研修に参加し、参加できていないパートさんにも資料や当日の内容を伝えています。また紙媒体でのアンケート等も行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在2のあひるの利用児さんの中に対象の方はいらっしゃいませんが、法人内で組織的に話し合いを行っています。		